

旅、それが生み出す変革

旅は私たちの生活や人生にさまざまな面で変革をもたらします。本講座は、ひろしま美術館で開催される特別展「風景画のはじまり コローから印象派へ」にちなみ、風景、旅、レジャーなどについて文学と美術の両面から迫ります。

【日 時】 2022年 第1回:5月28日(土) 13:30～15:40
第2回:6月4日 (土) 13:30～15:40
第3回:6月11日(土) 13:30～15:40

【会 場】 サテライトキャンパスひろしま(広島市中区大手町1丁目5-3)

〔第1回〕 5月28日 (土)	13:30～14:30	海外をめざした イギリス女性たちの旅	県立広島大学 教授 天野 みゆき
	14:40～15:40	旅と「絵になる風景」	ひろしま美術館 学芸員 農澤 美穂子
〔第2回〕 6月4日 (土)	13:30～14:30	旅するアメリカ文学: ロード・ノヴェルの系譜をたどる	県立広島大学 准教授 栗原 武士
	14:40～15:40	鉄道と旅	ひろしま美術館 学芸課長 水木 祥子
〔第3回〕 6月11日 (土)	13:30～14:30	古典文芸における旅	県立広島大学 准教授 目黒 将史
	14:40～15:40	ゴッホの憧れ, 浮世絵に描かれた日本の旅	ひろしま美術館 学芸員 森 静花

【受講料】 無料

【募集人数】 60名

【対象】 美術・文学・文化に興味をお持ちの方

【申込方法】 下記URLまたは、QRコードから受講条件をご確認いただき、オンラインもしくは往復はがきにてお申込みください。

URL:<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/kouza20220528.html>

※締切:2022年5月13日(金)

<往復はがきの申込方法>

往信面の裏に①郵便番号, ②住所, ③お名前(ふりがな), ④電話番号, ⑤メールアドレスを, 返信面の表に受講される方の郵便番号, 住所, お名前(「〇〇〇〇」様)をご記入の上, 締切日までに以下の宛先にお送りください。

〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71
県立広島大学地域連携センター「ひろしま美術館連携講座」係
電話(082)251-9534



※締切日以降に受講票, 受講案内をお届けします。なお, 申込多数の場合は抽選となることがあります。(申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。)

【主催】 県立広島大学地域連携センター・公益財団法人ひろしま美術館

なお, 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては講座内容等を変更する場合がありますので, ご了承ください。

その際は, 主催者のホームページに掲載し, 申込者には個別に連絡いたします。

講座内容

●5月28日(土)

天野みゆき 「海外をめざしたイギリス女性たちの旅」

イギリスの上流階級の子弟たちによる大陸旅行(グランド・ツアー)は18世紀に全盛期を迎え、その国内版とも言えるべきピクチャレスク・トラヴェルも流行、19世紀にはトマス・クックによる国内外への団体旅行が実施されて近代ツーリズムが誕生しました。このような旅の歴史を概観した上で、海外をめざした女性たちの旅に注目します。国内での束縛を逃れ、新たな可能性を手に入れようとした女性たちの挑戦を、小説や旅行記を通して考察します。

農澤 美穂子 「旅と「絵になる風景」」

それまで肖像画が中心だったイギリスにおいて、17世紀にはじまる大陸旅行(グランド・ツアー)が、イギリスの風景画の発達に大きく寄与しました。イタリアの都市景観や理想的風景画がイギリスに持ち帰られ、イギリスの風景画家たちがそれに影響を受けて自国の「絵になる風景(ピクチャレスク)」を描くようになります。17～19世紀イギリスにおける風景画の発達と、その後の他国の画家への影響について紹介します。

●6月4日(土)

栗原 武士 「旅するアメリカ文学:ロード・ノヴェルの系譜をたどる」

建国の神話がヨーロッパからの移住によって始まるように、アメリカ文化の中には移動・移住のイメージがあふれています。使い古された「アメリカの夢」というキャッチフレーズにも、「ここではない新天地で新しい生活を打ち立て、経済的に成功する」という移住の要素が含まれています。本講座では、そのような移動・移住・旅のイメージをさまざまな旅の文学、すなわち「ロード・ノヴェル」の中に読みこみたいと思います。

水木 祥子 「鉄道と旅」

フランスでは1837年に初めて旅客用の鉄道が開通すると、各地に瞬く間に広がっていきました。鉄道に乗って旅することは市民の娯楽のひとつとなり、鉄道の路線沿いには観光地が誕生していきます。画家たちは有名な景勝地や風光明媚な観光地を訪れ、自然のなかで休日を過ごす市民の姿を描きました。印象派が描いた風景画を中心に、鉄道がもたらした旅と近代生活の様相を紹介します。

●6月11日(土)

目黒 将史 「古典文芸における旅」

語り物文芸には道行文が描かれることがあります。道行文は、ある人物が、何らかの理由によりせざるを得なくなった、〈旅〉を描く文章表現です。様々な地名を並べて、七五調でリズム良く表現されています。本講座では、『平家物語』などに描かれた道行などの旅の表現を読み解くことにより、古典文芸に描かれる名所を思い描きます。

森 静花 「ゴッホの憧れ、浮世絵に描かれた日本の旅」

江戸時代にさかんに行われた旅は、浮世絵として今日にもその姿を伝えています。北斎や広重など、有名絵師によって仕上げられた浮世絵を中心に、当時の日本人にとっての「旅」の感覚を紹介します。また、日本に憧れを抱いたフィンセント・ファン・ゴッホが、浮世絵のどの部分に惹かれたのか、彼の興味の源泉を探ります。